



さだボイス



作者：娘 5月号

(鈴木さだはるだより No.24)

ごあいさつ

日頃は「鈴木さだはる後援会」に対し、ご支援ならびにご協力を賜り感謝申し上げます。
新緑の美しい季節となりました。しかしながら先月の気候は、4月にも関わらず真夏日になった地域や朝夕の冷え込み等、寒暖差が激しく体調管理に苦慮された方も多かったのではないかと思います。ご自愛ください。
以前よりご紹介させていただいていますが、今年度市政施行75周年記念事業として、様々な記念事業を実施します。4月は、よさみフローラルガーデン、ミササガパークでガーデンフェスタなど開催、22日（火）には、新すぎな作業所のオープニングセレモニーが開催されました。今月29日（木）には、記念式典が開催されます。
各行事イベントなどは、市ホームページ、あいかり、公式LINEなどから確認できます。よろしくお願いいたします。

【議会情報】

令和7年度刈谷市事業と主な補助事業を紹介します。

児童発達支援センター移転整備事業 52,000千円

児童発達支援センター（しげはら園）に通所する子どもの療育環境の改善、及び地域の園などに通う発達が気になる子どもとその家族に対する支援の充実を図るため、さくら保育園北園舎跡地へ移転整備します。

■継続費 令和7年度～8年度 総額 678,000千円

■事業箇所 若松町

■構造規模 鉄筋コンクリート2階建て 延床面積 1,240㎡

■開所日 令和9年1月（予定）



現在のしげはら園（下重原町）

市民活動活性化支援事業 8,050千円

市制施行75周年記念事業として自治会の活動をさらに支援するため、活力ある地域づくりに取り組む自治会などへ笑顔あふれる地域づくり補助金を増額して交付します。

■市制施行75周年記念笑顔あふれる地域づくり補助金

（1）補助率 50%⇒100%へ拡充

（2）補助額 上限15万円から上限50万円へ拡充

昨年の地区盆踊り風景



防犯カメラ設置補助事業 2,000千円

犯罪発生を抑制し市民の不安を軽減するとともに、安心安全なまちづくりを推進するため、個人住宅の屋外に設置する防犯カメラなどの購入費及び設置費の補助を行います。

■対象機器など 防犯カメラ、録音機、表示板

■補助率 50%

■補助額 上限1万円



災害対策管理事業

10,700千円

避難所における良好な生活環境を確保するため、災害用トイレ資器材及び蓄電池を配備します。

■自動ラップ式トイレ

■携帯トイレの追加配備

■蓄電池の配備

こどもの生活・学習支援事業

6,118千円

こどもの進学に向けたチャレンジを後押しするため、経済的課題を抱えるひとり親家庭及び低所得者子育て世帯に対して、こどもの大学などの受験料及び模擬試験費用の補助を行います。

■対象世帯 児童扶養手当受給水準のひとり親世帯または、住民税非課税世帯

■補助額 (1) 大学などの受験 (20歳未満) 上限53,000円

(2) 大学などの受験模擬試験 (20歳未満で大学などの受験年度) 上限8,000円

(3) 高校受験模擬試験 (中学3年生) 上限6,000円

公共交通再編事業

191,425千円

公共交通の更なる利便性向上を図るため、かりまるの路線再編やデマンド交通「チョイソコかりや」の実証実験を行います。

■かりまるの路線再編 (令和8年2月予定)

(1) 路線及び便数の充実と運賃の有料化 (キャッシュレス決済導入)

(2) 乗継拠点整備

■デマンド交通の実証実験…運行区域の拡張と運行時間の延長



たまち公園等整備事業

470,757千円

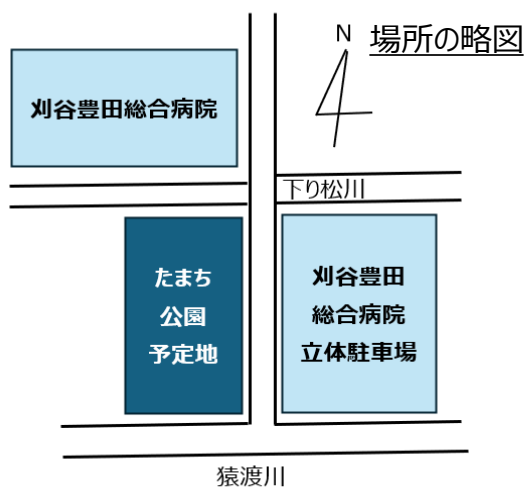
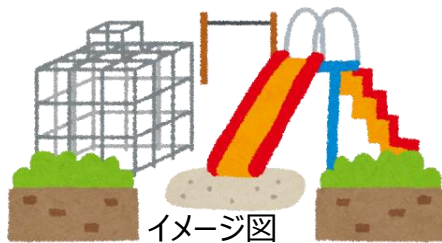
公共施設移転に伴い、公園を再編し機能の増進を図るため、新たにたまち公園を整備します。

■継続費 令和7～8年度

総額 750,000千円

■事業箇所 田町

■公園整備工事 約1.2ha



【5月の予定】

10日 連合三河西メーデー
17日 小学校運動会
18日 地域イベント
23日 政策推進フォーラム
24日 ユタカクラブ総会
29日 市政75周年式典
31日 吉原地区イベント

【5月の暦】

1日 八十八夜
3日 憲法記念日
4日 みどりの日
5日 端午の節句
こどもの日
立夏 (りっか)
11日 母の日
21日 小満 (しょうまん)

【あとがき】皆さまもニュース等でご存じとは思いますが、全国の百日咳感染者が、4月1週目の間で700人強の感染者数報告があったということです。4月中旬統計で全国の感染者数は、2,900人を超える状況で増加傾向にあるようです。百日咳とは、百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作（痙咳発作 けいがいほっさ）を特徴とする急性の気道感染症で、いずれの年齢でもかかりますが、小児が中心となっているようです。重症になる可能性があり、注意が必要です。厚生労働省は、百日咳の予防には、5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）等の接種が有効としてますが、各自判断の上、ご対応ください。引き続き、感染症対策など健康管理が必要ですね。